

安全で有意義な夏休みのために 防犯教室

生徒指導主事
岡崎 克史

いよいよ子供たちが待ちに待った37日間の夏休みを迎えます。時間割のある学校生活から離れ、家庭での生活が主となる夏休みは、日ごろできないことに挑戦できるよい機会であると同時に、思わぬ事件や事故に遭う心配も増えます。子供たちにとって充実した楽しい夏休みとするためには、第一に「安全・安心の確保」が重要です。そのためには周囲の大人の配慮はもちろんですが、子供自身の危険を回避する力が必要です。

今月18日、高岡警察署少年警察補導員の青山さん、中田駐在所の山名さん、県警委嘱少年補導員の森田さんをお迎えして、防犯教室を行いました。校長先生の「自分で考え、正しく判断し、行動できるようにしてください。」というお話から始まり、低学年、中学年、高学年と時間を分けて、それぞれの段階に応じて、DVDを見たり、具体的なお話を聞いたりしながら万引き防止や交通事故防止について学ぶことができました。どの学年の子供も、真剣な表情で話を聞きながら、質問にも積極的に答えていました。

3人の方から聞いたお話の概要

<万引き防止>

- 万引きは窃盗という犯罪。万引きしないということは、悪いことをしないという当たり前のこと。
- しない、させない、手伝わない、もらってもダメ。
- 落ちていたボールや放置されている自転車を、勝手に使うことも法律で罰せられる罪。
- 「わからなければいい」は、自分をごまかしていることになる。
自分にウソをつくような子供になってほしくない。
- お店の人はとても困る。家の人はとても悲しむ。

<交通事故防止>

- 飛び出しは絶対しないこと。見通しの悪い交差点は特にしっかり止まって左右を確認。
- 小学生が自転車に乗る時は、必ずヘルメットをかぶるよう法律で定められている。
- 自転車での一旦停止が大事。
- 人の身を守るために交通ルールがある。みんながルールを守れば、自分も他の人も守られる。

<ネットトラブル防止(高学年)>

- ネット環境を使ったゲームは、特に気を付けてする。
- SNSは、他の人に注意されない使い方をしなければならない。
- 相手を攻撃する側の人になってはいけない。

など



「家族や学校の先生方だけでなく、地域全体が皆さんの安全を願って、気にかけていることを忘れないで！」

事故や事件に巻き込まれない、起こさない安全な夏休みにしてほしいと思います。

ご家庭でも、夏休みのしおりを参考にしながら、有意義な日々が送られるように話し合ってください。

8月31日に元気な子供たちの笑顔が見られることを願っています。

今回の防犯教室に合わせて、万引き防止チラシ(両面カラー)を全学年に配布しました。子供たちが聞いた内容がわかりやすく載っています。保護者の皆様もぜひお読みください。6年生には「手の中の危険(スマホトラブルに関するパンフレット)」も配布しましたので併せてお読みください。